



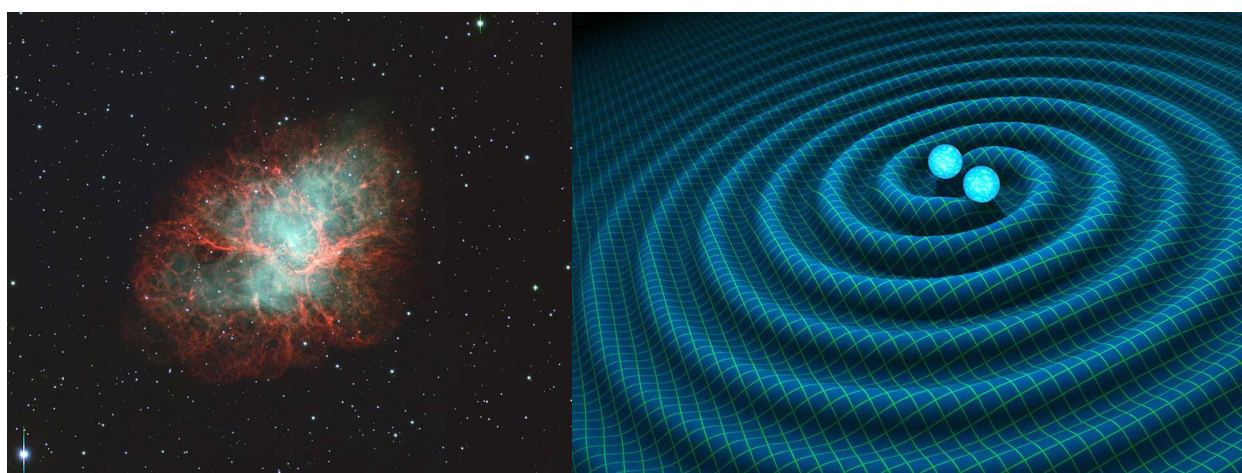
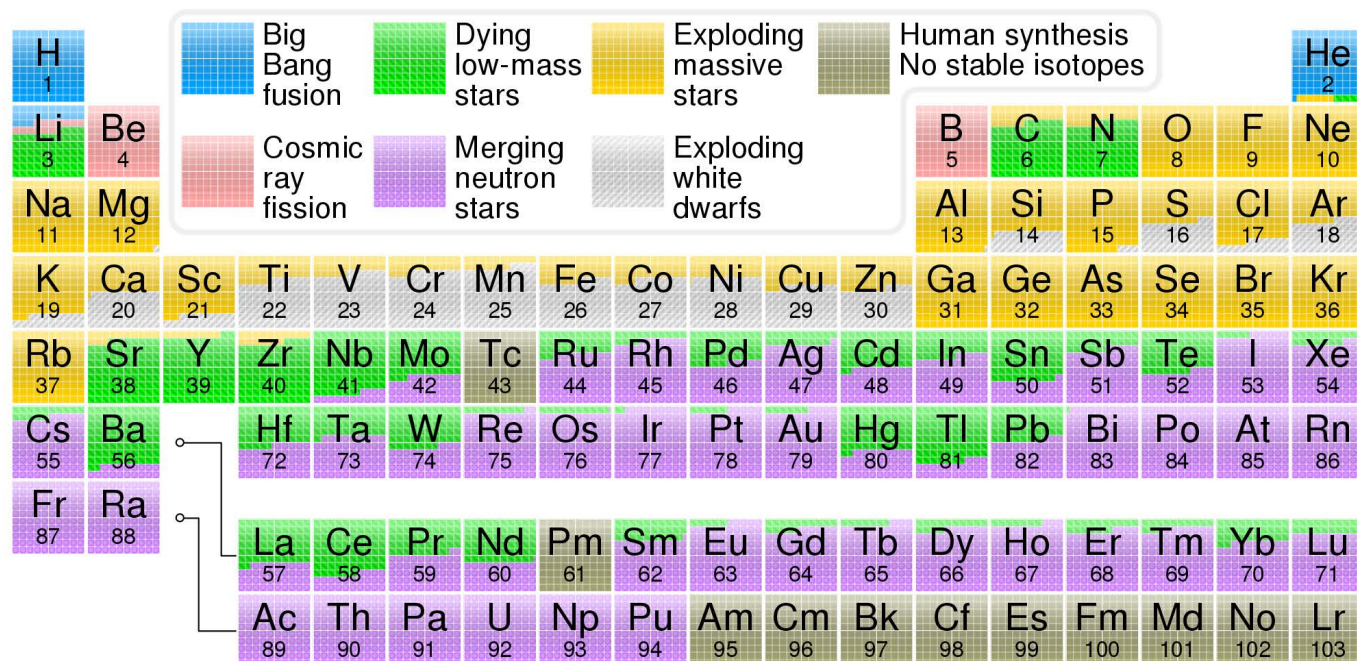
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.6月号

寄贈品コーナー展示

国際周期表年 2019 記念 元素でひも解く宇宙



宇宙における元素合成の場…超新星残骸の「かに星雲」（左）と中性子星同士の合体による重力波の発生（右・想像図）

ロシアの化学者メンデレーエフが元素の周期律を発表して 150 年にあたる 2019 年は、ユネスコなどによって世界周期表年と定められました。それを記念して、本展示では宇宙や地球と元素のかかわりを紹介します。

近年、天文学の発展により、宇宙における元素の起源がほぼ明らかにされました。私たちの身の回りにある元素は宇宙のどこでつくられたのでしょうか？ そして地球を含むどこにどのように存在しているのでしょうか？ 元素をキーワードに、宇宙と地球の姿を考えてみましょう。

会期：6月15日（土）～7月10日（水）

会場：1階 寄贈品コーナー

“空”の写真を公募します！

空は一日たりともおなじ表情を見せることはありません。あるときは抜けるような青空に白い雲が浮かび、またあるときはどんよりとした灰色の曇り空から雨が降ることもあります。雨上がりに虹が見えることもあれば、日が沈む前に色鮮やかな雲・彩雲が見えることもあります。日々、違う顔を見られるのが、空を観察する醍醐味です。

虹や、太陽の周りにできる日暈（ハロ）や光環、彩雲などをまとめて「大気光学現象」といいますが、平塚市博物館では、それらの仕組みなどを美しい写真とともに解説する特別展、「空を見上げよう～空の色の不思議」展（仮称）を2020年3月に開催する予定です。つきましては、様々な空の表情を幅広く取り上げるため、雲や大気光学現象を撮影した写真を下記の通り募集します。たくさんのご応募、お待ちしております。



公募する写真

<雲>

季節を感じさせる雲／〇〇の形に見える雲／不思議な形に見える雲

<大気光学現象>

虹（月虹）／ハロ／幻日／幻日環／環天頂アーチ／環水平アーチ／
タンジェントアーチ／光環／彩雲／夕陽／夕焼け／地球影／
光芒（天使のはしご） など



※これってなんだろう？こんな写真送っていいの？などよくわからないものがあれば、博物館までお問い合わせください。

※平塚市内で撮影されたものでなくても構いません。

また撮影日がわかれば、いつ撮影されたものでも構いません。

応募方法：メール本文に氏名、メールアドレス、撮影場所（市町村）、撮影日を記入し、写真を添付のうえ専用アドレスまでお送りください（応募はメールのみとします）。複数ご応募される場合は、お手数ですが写真1枚につき1通ずつメールをお送りください。写真のサイズは1枚あたり2MBまで。

送付先アドレス：muse-photo@city.hiratsuka.kanagawa.jp

募集締め切り：2019年11月1日（金）



募集する写真の例（左からハロ、夏の風物詩・積乱雲、虹）

燻蒸（くんじょう）作業のため、休館します【期間】 6月4日（火）～14日（金）

博物館が所蔵する資料は、地域の記憶を伝え、地域のこれからを考えるための大切な財産です。この資料を虫やカビの害から守るために、定期的に「燻蒸」という作業を行なっています。

これにともない、6月4日（火）から14日（金）までの期間を休館とさせていただきます。休館中、館内への立入はできませんが、電話等のお問い合わせには応じることができます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

プラネタリウム一般向け投影

太陽と星の動き

太陽や星は東から昇り西に沈みます。北の星は時計と反対方向に回っているように見えます。これらの動きの原因は地球の自転ですが……なかなかわかるようでわからない、という方も多いのでは？そんな星の動きを再現するのがプラネタリウムは大得意。小学校でも習う星の動き、子どもの頃に帰った気分で、もう一度、学んでみませんか？

投影日：2019年6月15日(土)～7月14日(日)の土・日曜日

時刻：午前11時、午後2時(土曜日の午前11時の回を除く)

観覧料：200円(18歳未満65歳以上は無料)

※65歳以上の方は年齢がわかるものをご用意ください。

※当日午前9時より、観覧者全員が揃ってから受付で観覧券を

お求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。

定員：70人



北天の星の動き

最新天文学講座 ブラックホールとはなにか？

2019年4月10日、史上初めてブラックホール(の影)の撮影に成功したというニュースが世界中をかけめぐりました。このニュースに接し、ブラックホールという天体に興味を持った方も多いのではないのでしょうか？

そもそもブラックホールとはどういった天体なのか？ 今回の観測はどのように行われたものなのか、撮影された写真のどこがブラックホールなのか？ ブラックホールの基本から、今回の観測の成果まで、ブラックホールについてトコトン解説します。

日時：2019年6月30日(日) 午後3時30分～午後5時

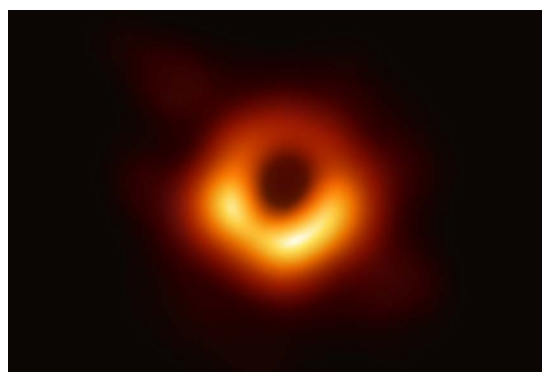
(開場は午後3時15分)

会場：博物館1階 講堂

講師：塚田 健(当館学芸員)

参加：自由

定員：50人



撮影に成功したブラックホール・シャドウ

©EHTCollaboration

みんなで調べよう 「平塚のカタツムリ」調査員募集

市内のカタツムリの分布を一緒に調べませんか？調査方法の詳細をEメールにてお知らせしますので、参加希望の方は下記のメールアドレスからご登録の申し込みをお願いします。小さなお子さんからご参加いただけます。写真をパチリと撮って博物館に送る方法で調査をしますので、ご都合のよいときにご参加いただけます。日々のお散歩やおでかけの際に、カタツムリの写真を撮って博物館に送って下さい。参加登録をお待ちしています！

調査期間：2019年7月～2020年10月(予定)

参加：Eメールで画像を送信できる環境のある方(携帯電話可)。小学生以下は保護者の方がお申込みください。

申込：Eメール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)で行事名、住所、氏名、電話番号を記入し、6月21日(金)までに参加登録を申し込む(カタツムリの写真は送らないで下さい)。受付期間中は随時受け付けていますので、上記メールでご連絡ください。



ミスジマイマイ

1	土			☆	プ	特	寄	情
2	日	◎	平塚の古代を学ぶ会 星空散歩	科学教室 プラネ	☆			
3	月		休館					
4	火		燐蒸休館日					
5	水		燐蒸休館日					
6	木		燐蒸休館日					
7	金		展示解説ボランティアの会 野外					
8	土		燐蒸休館日					
9	日		燐蒸休館日					
10	月		燐蒸休館日					
11	火		燐蒸休館日					
12	水		燐蒸休館日					
13	木		燐蒸休館日					
14	金		石仏を調べる会 野外					
15	土		燐蒸休館日					
16	日	◎	地球科学野外ゼミ 天文学入門講座	特別研究室 講堂	☆			
17	月		休館					
18	火		裏打ちの会 科学教室					
19	水		民俗探訪会 野外					
20	木		古代生活実験室 科学教室					
21	金		展示解説ボランティアの会 特別研究室					
22	土		古文書講読会 講堂					
23	日		東国史跡踏査団 野外					
24	月		地域史研究ゼミ 特別研究室					
25	火		平塚の空襲と戦災を記録する会 特別研究室					
26	水		天体観察会 天文学分科会 特別研究室					
27	木		休館					
28	金		天体観察会 太陽分科会 特別研究室					
29	土		天体観察会 流星分科会 特別研究室					
30	日	◎	最新天文学講座 講堂		☆			

6月の休館日：3日、4日～14日(燐蒸)、17日、24日

☆：プラネタリウム投影日 ◎：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制
プ：プラネタリウム一般投影 特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

【6月の展示】

- 寄贈品コーナー展示 (会場：平塚市博物館1階寄贈品コーナー)
「新着資料展～民俗・歴史～」 6月2日(日)まで
内容：昨年度新たに収集した歴史・民俗分野の資料を紹介します。
「国際周期表年2019記念 元素でひも解く宇宙」 6月15日(土)～7月10日(水)
内容：周期表に記載された元素と宇宙のかかわりを紹介します。 1頁参照
- 情報コーナー展示 (会場：平塚市博物館2階情報コーナー)
ポスト企画展「平塚の野鳥写真展」 6月2日(日)まで
内容：平塚で見られる野鳥を写真で紹介いたします。
ポスト特別展「民具の物語」 6月15日(土)～7月7日(日)
内容：春期特別展のダイジェストを紹介します。

【6月の行事】

- ◎天文学入門講座『月の科学と文化 第3回「月探査の歴史①」』
内容：アポロ11号が人類初の月面着陸を果たして半世紀を迎える節目の年に、月を様々な角度から見つめなおします。第3回は、アポロ計画以前の無人探査について解説します。
日時：6月16日(日)午後3時30分～午後5時 開場は午後3時15分

1	月		休館		プ	特	寄	情
2	火							
3	水							
4	木		展示解説ボランティアの会 講堂					
5	金		古文書講読会 講堂					
6	土	◎	東国史跡踏査団 講堂(雨天)	☆				
7	日		星空散歩 プラネ					
8	月		地球科学野外ゼミ 野外	☆				
9	火		休館					
10	水							
11	木		古代生活実験室 科学教室					
12	金		石仏を調べる会 特別研究室					
13	土		古文書講読会 講堂					
14	日		お囃子研究会 講堂					
15	月	◎	館長の星空解説 プラネ	☆				
16	火		平塚の古代を学ぶ会 科学教室	☆				
17	水		地球科学野外ゼミ 特別研究室					
18	木		休館					
19	金		裏打ちの会 科学教室					
20	土		展示解説ボランティアの会 講堂					
21	日	◎	古文書講読会 講堂					
22	月		星を見る会 屋上					
23	火		地域史研究ゼミ 特別研究室					
24	水		平塚の空襲と戦災を記録する会 特別研究室					
25	木		◎天文学入門講座 講堂	☆				
26	金		天体観察会 定例会 講堂	☆				
27	土		天体観察会 太陽分科会初心者コース 講堂	☆				
28	日		休館					
29	月							
30	火							
31	水		石仏を調べる会 講堂	☆				
		◎	不思議な板で万華鏡を作ろう 科学教室					
			古文書講読会 講堂					
			聞き書きの会 特別研究室					
			お囃子研究会 講堂					
		○	みんなで調べよう 講堂					
		○	自然教室 野外	☆				
		○	天体観察会 流星分科会 特別研究室					
		◎	夏期特別展展示解説 特別研究室					
		○	体験学習「縄文人になろう」 科学教室					
		○	天体観察会 天文学分科会 特別研究室	☆				
			休館					
			天体観察会 太陽分科会 特別研究室					
		○	望遠鏡を作ろう 科学教室	☆				
		○	川原の石ころ図鑑を作ろう 講堂 / 野外					

【6月のプラネタリウム】

- 定員：70人 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
○観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。
○65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください。

- ☆プラネタリウム一般向け番組「サザンクロスへの旅」(所要50分)
内容：平塚からは見ることができない南天の星空や天体を紹介します。
投影日時：6月2日(日)までの土曜日午後2時と日曜日の午前11時・午後2時
☆プラネタリウム一般向け番組「太陽と星の動き」(所要50分) 3頁参照
投影日時：6月15日(土)～7月14日(日)
土曜日午後2時と日曜日の午前11時・午後2時
☆親子ほしぞらタイム「すいせいゴエモンの冒険」(所要50分)
投影日時：7月13日(土)までの土曜日午前11時の回
☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」(所要50分)
投影日時：6月2日(日)午後3時30分